

2024年度決算状況

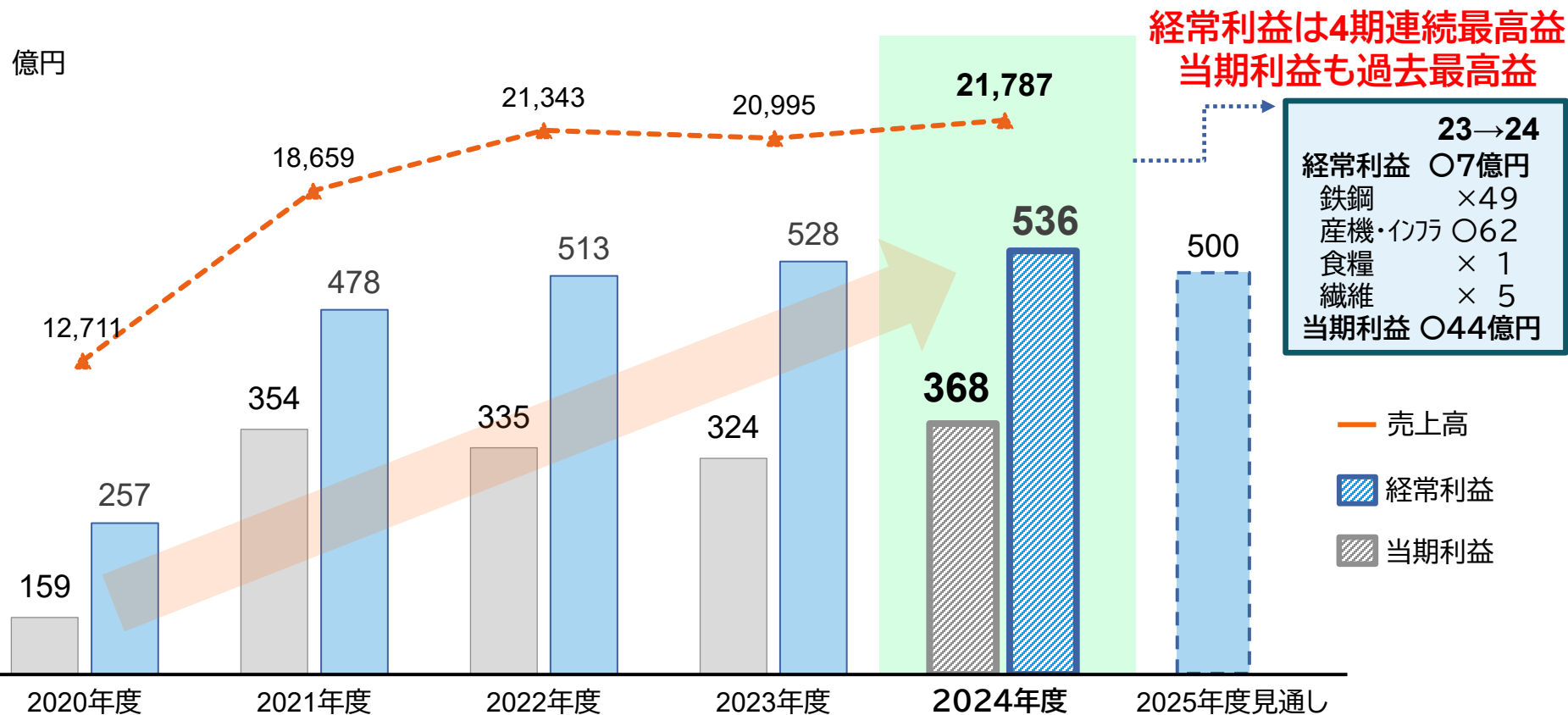
2025年5月



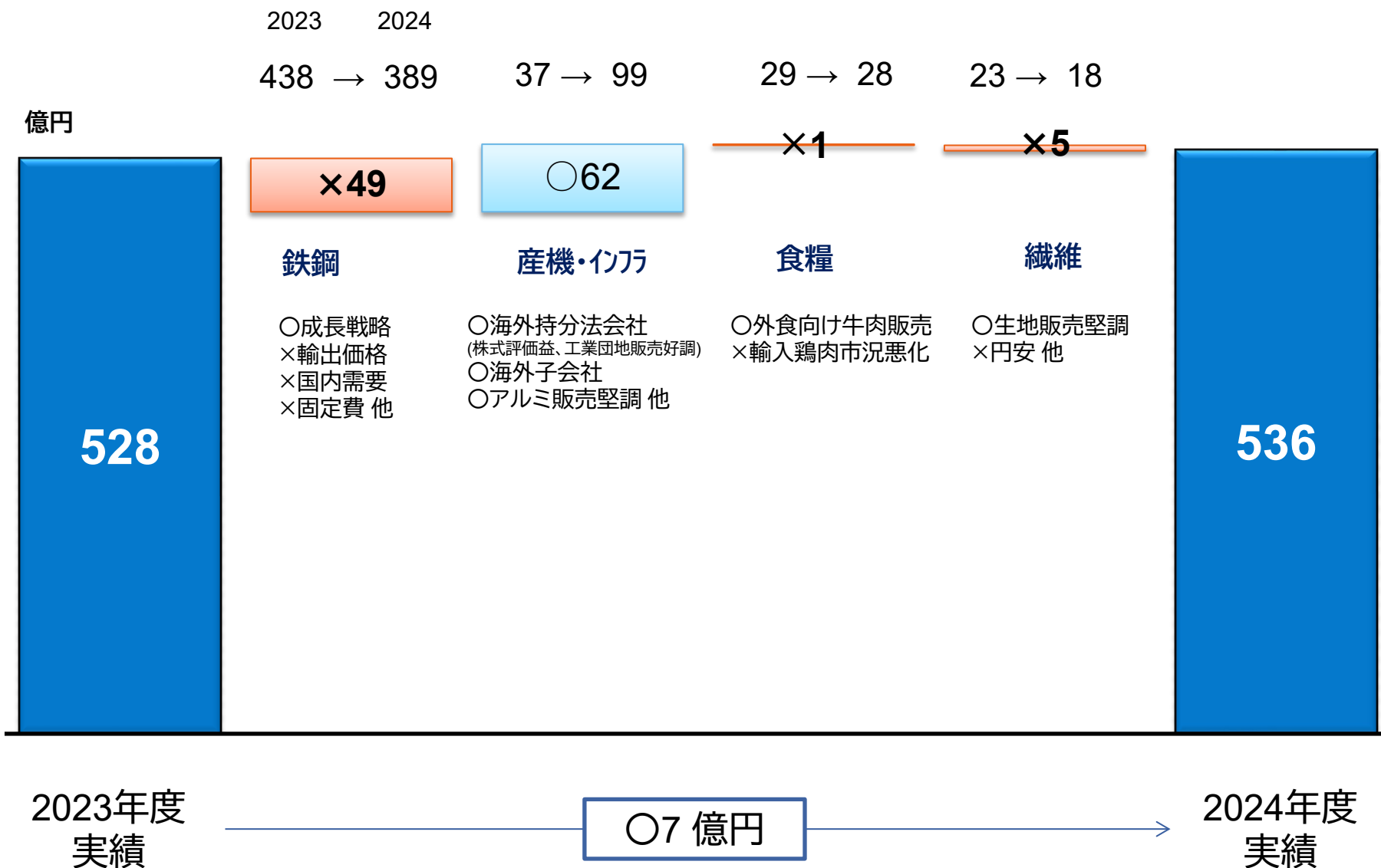
日鉄物産
NIPPON STEEL TRADING

2024年度決算のポイント

- 1) 中国の鋼材輸出拡大に伴う国際鋼材市況の下落、及び国内鋼材需要の低迷等により厳しい事業環境。
- 2) 将来の利益成長に必要な人財確保・育成等に関わる費用の戦略的投入は行いつつ、成長戦略施策の実行、及び産機インフラ事業のロジャナ工業団地での販売好調や株式評価益等により、連結経常損益は536億円と、前年度に対して〇7億円の増益となり、四期連続で最高益を更新。
- 3) 当期純利益も368億円となり、過去最高益を更新。(これまでの最高益:2021年度354億円)



経常利益増減要因 (2023年度実績→2024年度実績)



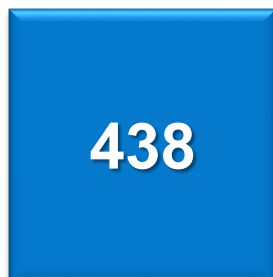
鉄鋼事業經常利益増減 (2023年度実績→2024年度実績)

億円

価格・数量等

成長戦略等

固定費



× 47

- ・国内価格 前期比 1%↑
- ・輸出価格(US\$) // 10%↓
- ・国内数量減 他

○ 58

- ・海外事業拡大(米州 他)
- ・国内事業競争力強化(コイルセンター等)
- ・戦略品種拡販(電磁等) 他

× 60

- ・ベア(3万円)
- ・人員増
- ・システム費 他



2023年度
実績

經常利益 ×49 億円

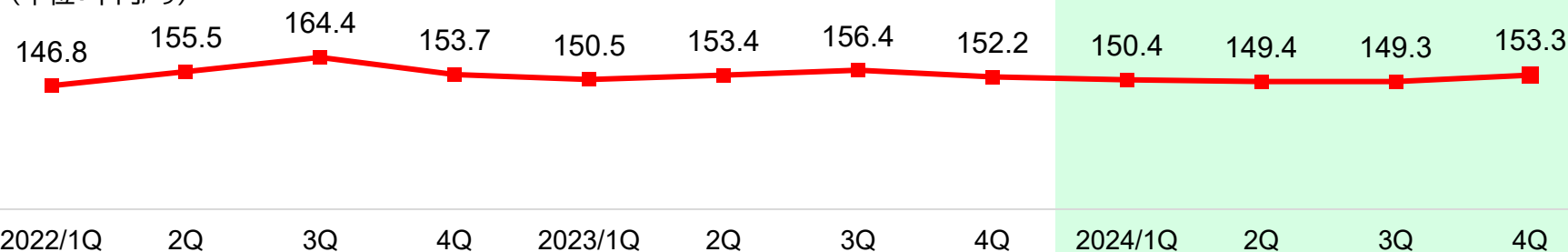
2024年度
実績

当社連結鋼材取扱量

万トン	2023年度	2024年度	増減
連結計	1,666	1,773	+ 107
海外	739	856	+ 117
国内	927	917	▲10

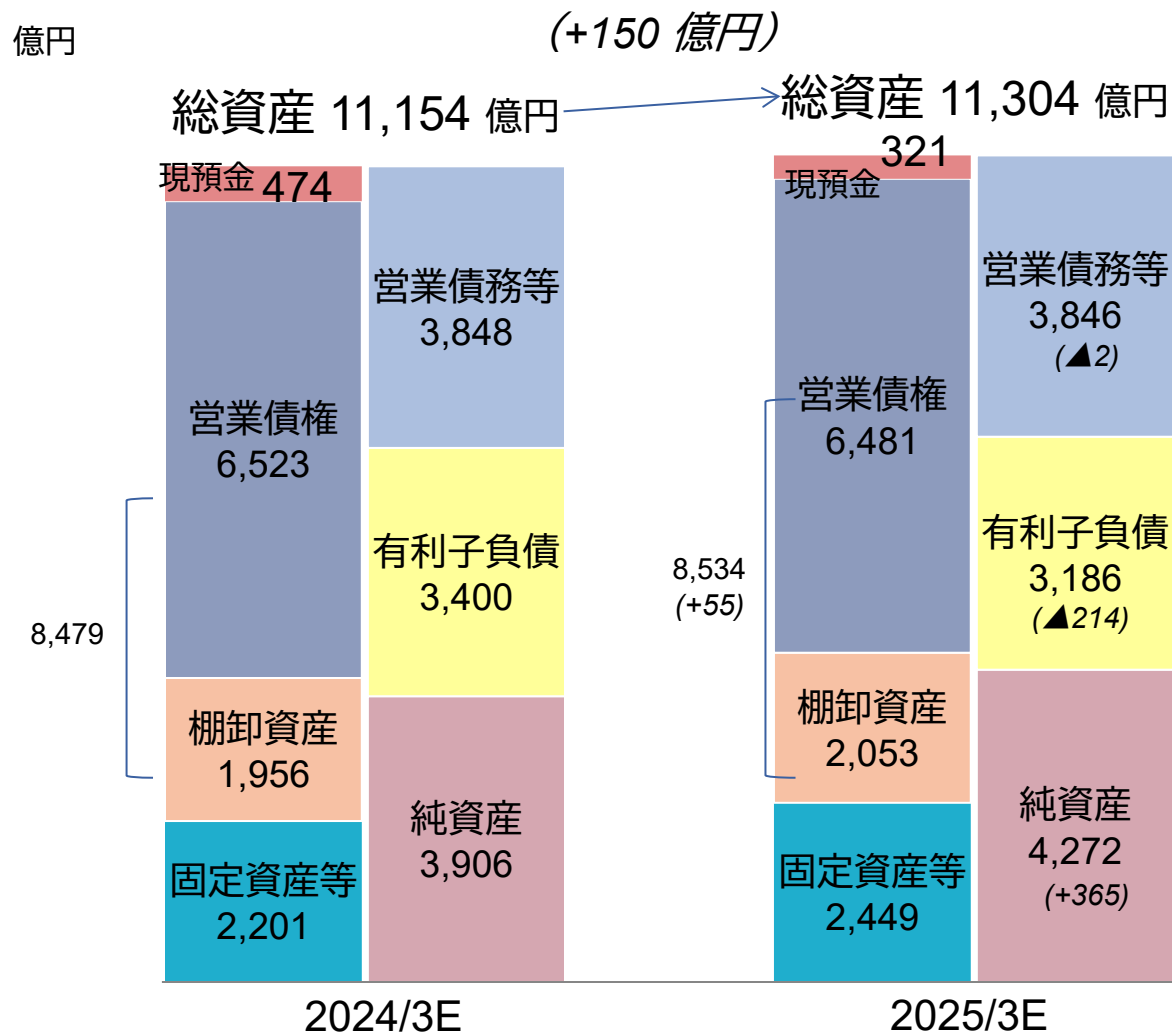
当社単体鋼材販売価格

(単位:千円/トン)



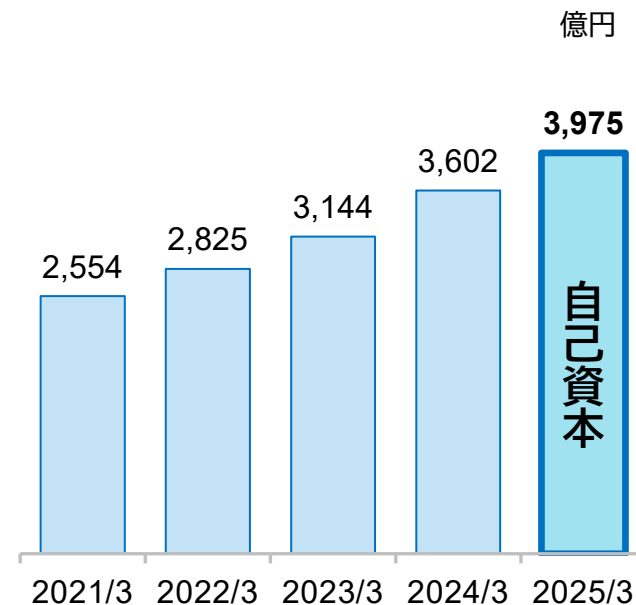
財務状況

- 財務体質は、自己資本比率、Net D/Eともに改善



	2024/3E	2025/3E	対比
自己資本比率	32.3%	35.2%	○2.9%
Net D/E	0.81倍	0.72倍	○0.09倍

自己資本の推移



()は対前期末増減

1. 建材分野における「建材薄板」「建築」「土木」「工事」の4つの建材総合販売体制の拡充

- 当社は2024年10月、全国に強固な販売ネットワークを誇る旧NS建材薄板(株)と合併し、「建材薄板」「建築」「土木」「工事」の4つの分野における建材総合販売体制を拡充。当社が取り扱う「建材製品ソリューション」パンフレットに、建築・建材分野から土木インフラ分野までの80品種の商材を幅広くラインアップし、4分野のニーズにトータル対応。



合併の期待効果

- 営業組織の融合によるシナジー効果の早期発揮
- 戦略商品かつ高付加価値商品である高耐食鋼板(スーパーダイマ、ZAM、ZEXEED等)の拡販等

2. バングラデシュにおける鋼材加工販売大手MSBPL社とMOU を締結 (2024.12.11公表)

- 現地で高いプレゼンスを誇るMSBPL社 (McDonald Steel Building Products Ltd.)と土木・建設案件の協業に関するMOUを締結。バングラデシュにおける鉄鋼需要の捕捉と付加価値の提供に努め、バングラデシュ経済へ貢献すると共に、アジアでの事業拡大を図る。



MSBPL社との調印式にて
左: MSBPL社
Sarwar Kamal社長
右: 当社
磯部取締役常務

3. シンガポール最大級の鋼管問屋HUPSTEEL社へ日本製鉄のグリーンスチール「NSCarbolex Neutral」の販売を開始 (2025.1.30公表)

- ESG経営の深化に向けて取り組むべき重要課題の一つ「脱炭素社会・環境保全への貢献」を目指す当社と持続可能な鉄鋼流通のフロントランナーを目指すHUPSTEEL社(HUPSTEEL PTE. LTD.)の双方のビジョンが合致し実現。

日鉄物産株式会社企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。



日鉄物産

NIPPON STEEL TRADING